

okamura

オカムラ経営セミナー

# The Questionnaire of “Quiet” SUSAN CAIN

スーザン・ケイン 招聘記念講演会 | アンケート調査結果

# はじめに

過日は、オカムラ経営セミナー「スーザン・ケイン招聘記念講演会」にご来場賜り誠にありがとうございました。

講演会后、皆様にご協力頂きましたアンケート調査の結果をご報告いたします。

アンケートから、講演会内容が役立ったと9割以上ご回答いただき、多くの方が講演会テーマである「内向的な人がビジネスを変革する」に対して関心を寄せていただいたことが分かりました。

また、オフィスの中でじっくりと考えるための環境が求められていることや、集中するために必要な条件なども明らかになってきました。

内向型・外向型といった性格特性の視点もふまえた以下の調査結果をご覧ください、オフィス空間のあり方をお考えいただければ幸いです。

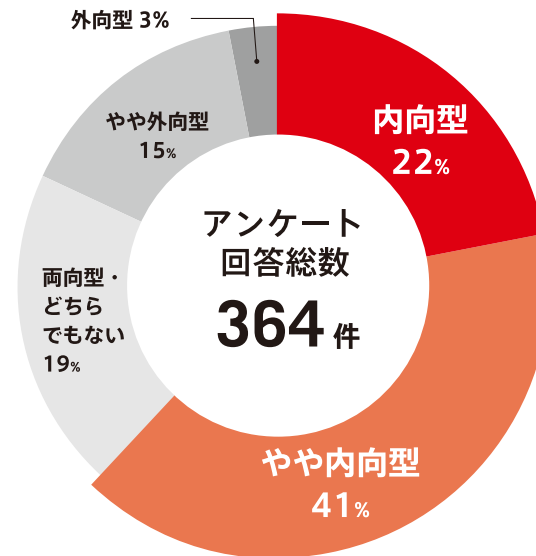
株式会社 岡村製作所



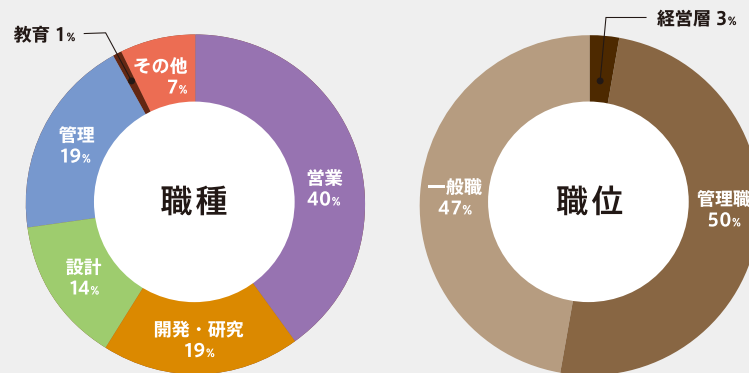
Question. 1 | あなたは「内向型」or「外向型」ですか？

63%が内向型人間でした

63%の人が、「内向型」、「やや内向型」と回答しており、内向型傾向にありました。一方で、18%の人が「外向型」、「やや外向型」と回答している外向型傾向でした。



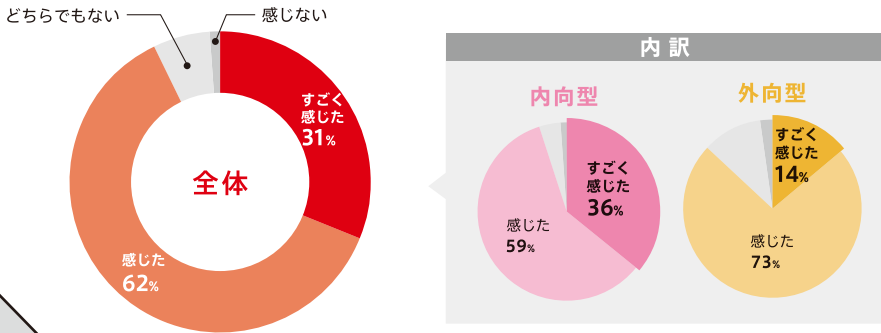
回答者プロフィール



Question.2 | ひとりでじっくり考えることの重要性を感じましたか？

# 93%がひとりで考えることの重要性を感じた

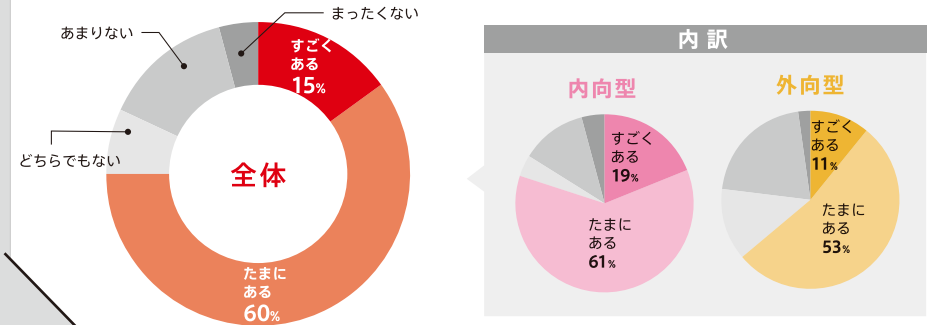
93%の人が、「すごく感じた」、「感じた」と回答しました。  
特に内向型傾向の回答者においては、36%が「すごく感じた」(外向型傾向の回答者は14%)と回答し、内向型な人ほどひとりでじっくり考えることの重要性を感じているようです。



Question.4 | 仕事中、邪魔されたくないことを、周りに知らせたいことがありますか？

# 75%が邪魔されたくないことを知らせたい

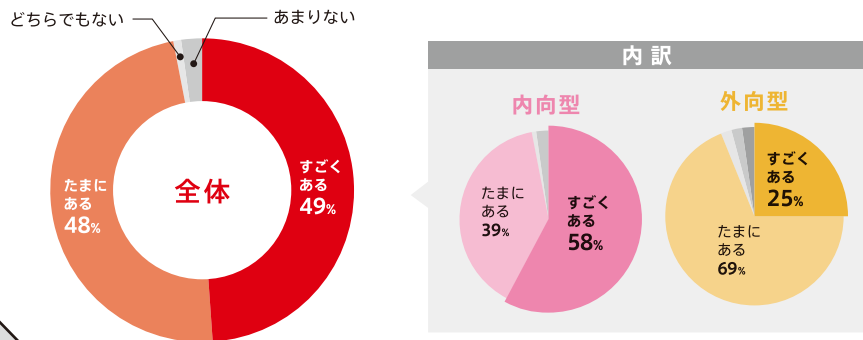
75%の人が、「すごくある」、「たまにある」と回答しました。  
内向型傾向の回答者が80% (外向型傾向の回答者は64%)と高く、内向型な人ほど、邪魔されたくないことを周りに知らせたいようです。



Question.3 | 邪魔されることなく自分の仕事に専念したいと思うことはありますか？

# 97%が自分の仕事に専念したい

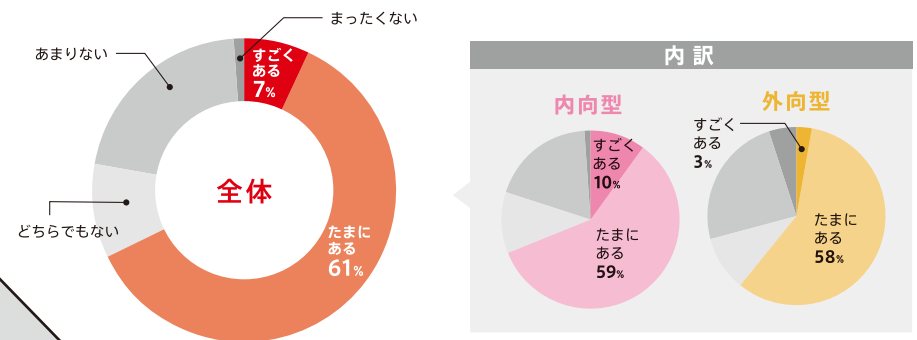
97%の人が、「すごくある」、「たまにある」と回答しました。  
内向型傾向の回答者においては、58%が「すごくある」(外向型傾向の回答者は25%)と回答し、内向型な人ほど邪魔されることなく自分の仕事に専念したいようです。



Question.5 | 自分(自分たち)の話声が周囲に聞かれることが気になることがありますか？

# 68%が周囲に聞かれることを気にしている

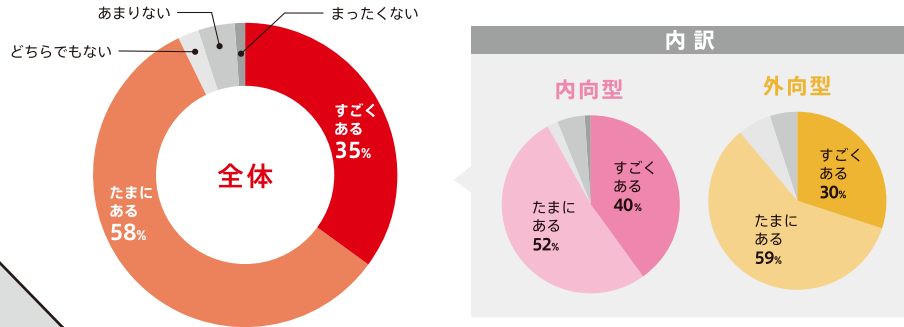
68%の人が、「すごくある」、「たまにある」と回答しました。  
一方で22%が、「あまりない」、「まったくない」と回答し、自分(自分たち)の話声が周囲に聞かれることをあまり気にしていない人も少なくないようです。



Question.6 | ひとりで作業をしているとき、仕事内容によって作業環境を変えたいことがありますか？

93%が作業環境を変えたいと考えている

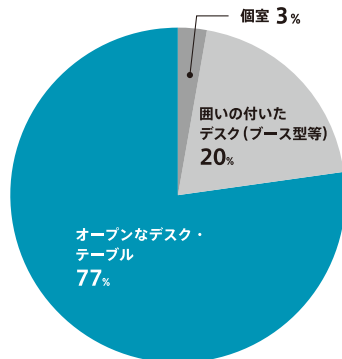
93%の人が、仕事内容によって作業環境を変えたいと考えており、ワークプレイス環境、ワークスタイルにおいて、各ワーカーが最適な環境を選択できる多様性、柔軟性のあるオフィスづくりがこれからは求められることが推測されます。



Question.7 | 自席はどんな環境で働いていますか？

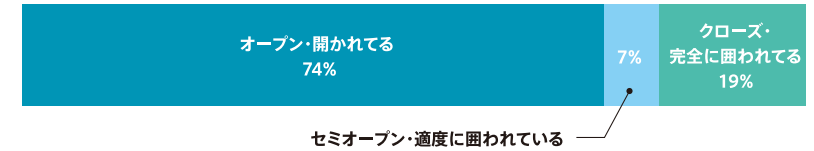
77%がオープンな環境

77%の人が、「オープンなデスク・テーブル」で働いている中、右のページにあるように、74%の人が「オープン・開かれた」、84%が「騒がしい」、「後ろから見られる」といった環境条件を、もっとも集中しにくいと回答しており、オープンオフィスの弊害(デメリット)が懸念されます。



Question.8 | あなたにとって、もっとも集中しにくい条件は

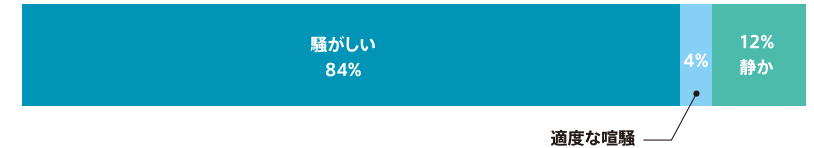
環境



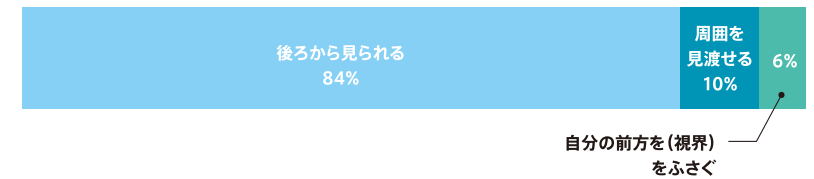
雰囲気



音



視線



位置



# アンケート回答者からのご意見

グループだけで決定してしまうと正しい選択はできず  
個人での考える時間が必要という点が特に印象的でした。

(設計・管理職・やや内向型)

オフィス空間をフリーアドレスやオープンエリアにして  
自由な雰囲気にしていくのは、一見先進的で良い発想が次々生まれるような  
気持ちになるが、そういう人たちばかりでないので、  
様々な選択肢を用意することがベターと認識できた。

(管理・管理職・やや内向型)

必ず内向的な人間が、30%強いること、その人材をどの様に活かすか。  
これまでの営業経験の中で自分はそのような人材と  
どの様に接していたかを考えさせられた。

(営業・管理職・やや内向型)

理屈は理解できたが、内向的かつ創造的な人材の発掘と、  
具体的な活用方法は簡単ではないと思う。内向的な人の力にも目を向け、  
活用する努力がマネジメントには必要なことは全くその通り。

(開発研究・管理職・外向型)

米国でもこういった視点から組織を考える人がいることで幅の広さを感じます。  
従来の米国流経営論でない点で米国を知る良い機会でした。

(管理・経営層・外向型)